

保存担当学芸員研修（保 05-06-1/5）

（1）保存担当学芸員研修

期間：2006（平成18）年7月10日（月）～21日（金）、参加者数：30名

近年博物館・美術館の数が増加すると共にその施設が近代化し、燻蒸室、保存・修理などの保存に関する設備が整備されて保存部門を担当する職員が配置されつつある。しかし、これらの職員が保存科学の知識や技術を修得しようとしても適当な学習の場がないのが現状である。そのために博物館、美術館などの学芸員の保存担当者を対象に、文化財の科学的保存に関する基本的な知識及び技術について研修を行い、その資質の向上をもって文化財の保護に資することを目的とし、第23回研修会を開催した。

7月10日（月）

石崎武志「保存科学 総論」

犬塚将英「保存環境 各論 温湿度」

犬塚将英、吉田直人「保存環境 実習 温湿度測定機器の取扱い、湿度制御」

7月11日（火）

齊藤孝正（文化庁）「保存環境 各論 文化財公開施設の設計」

佐野千絵「保存環境 各論 室内汚染」

吉田直人、犬塚将英「保存環境 実習 室内汚染の測定法と環境調査」

吉田直人「保存環境 各論 光と劣化・照度基準」

7月12日（水）

木川りか「生物被害 概論」

山野勝次、木川りか「生物被害 実習 文化財害虫同定」

石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「環境調査実習1」

7月13日（木）

木川りか「生物被害 各論 カビ」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）、木川りか「生物被害 実習 カビの除去」

山本記子「劣化と保存 各論 日本画」

吉田直人「環境調査実習1 報告」

7月14日（金）

石崎武志、犬塚将英「温湿度実習解説」

三浦定俊「調査手法 各論 構造調査」

青木繁夫「劣化と保存 各論 考古資料」

7月18日（火）

木川りか「生物被害 各論 生物防除法」

木川りか「生物被害 実習 殺虫処置」

石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「環境調査実習2 ケーススタディ」

7月19日（水）

歌田真介（東京芸術大学名誉教授）「劣化と保存 各論 油彩画」

加藤雅人「劣化と保存 各論 修復材料」

加藤雅人「劣化と保存 各論 紙」

荒井宏子「劣化と保存 各論 写真」

石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「ケーススタディ 報告」

7月20日(木)

- 早川泰弘「調査手法 各論 材質調査(無機物)」
- 吉田直人「調査手法 各論 材質調査(有機物)」
- 加藤寛「劣化と保存 各論 漆工品」
- 早川泰弘「劣化と保存 各論 大気汚染の金属への影響」
- 石崎武志、佐野千絵、木川りか、吉田直人、犬塚将英「ケーススタディ報告」

7月21日(金)

- 石崎武志「劣化と保存 各論 遺跡と水」
- 三浦定俊「博物館の設備 防災・防犯」

研修参加者名：

阿部有之、池田朋生、石末順子、石橋茂登、井上ひろ美、尾崎晃、河野エリ、後藤雅子、齋藤知美、志賀智史、澁谷卓男、隅田登紀子、田中和仁、田中龍也、田平麻子、多比羅菜美子、友成久実子、内藤栄本多美穂、丸谷仁美、三浦龍一、三宅環、宮島綾子、村越沙織、文珠省三、山口孝子、山田博規、吉宮さつき、龍泉寺由佳、渡邊絵美

所属：

秋田県立博物館、大阪歴史博物館、大野市教育委員会文化振興室、川崎市立日本民家園、岐阜県ミュージアムひだ、九州国立博物館、熊本県立装飾古墳館、群馬県立近代美術館、高知県立美術館、国立新美術館設立準備室、国立歴史民俗博物館、財団法人上原近代美術館、財団法人京都服飾文化研究財団、財団法人石水会館石水博物館、財団法人本間美術館、財団法人三宅美術館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館、札幌市環境文化局、文化部札幌市博物館活動センター、滋賀県立近代美術館、滋賀県立琵琶湖文化館、杉野学園衣裳博物館、田中本家博物館、東京都写真美術館、とちぎ蔵の街美術館、奈良国立博物館、新島村博物館、根津美術館、はつかいち美術ギャラリー、文化庁文化財部美術学芸課、みちのく北方漁船博物館

(2) 博物館・美術館等保存担当学芸員研修フォローアップ研修

日程：2006年6月5日(月)、会場：東京文化財研究所、参加者：62名

1981(昭和56)年より毎年、当研究所で開催している博物館・美術館等保存担当学芸員研修の修了者数は500人を超えた。修了生の尽力によって、収蔵・展示環境は大きく改善し、またそのための知識も広く認識されるに至った。しかし、この間にも、科学の進歩とともに、館内環境改善のための技術は発展し続けている。

さらに、2004(平成16)年末の臭化メチル全廃を機に、IPM(総合的生物管理)による予防を中心とした生物被害対策が求められている。このような時代の進展に伴い、従来とは異なる知識が学芸員に要求されている。本研修では、保存担当学芸員研修終了者を対象に、その職務に必要な最新の知識を常に持つことを目的に、再研修を行おうとするものである。

プログラム・講師

- 佐野千絵「臭化メチル代替手法の導入状況 文化財の生物被害防除法アンケート2005から」
- 犬塚将英「二酸化炭素殺虫処理における最適条件の検討」
- 吉田直人「パッシブインジケータ®を用いた館内環境調査」
- 石崎武志「調湿建材、断熱材等を用いた大型展示物の温湿度環境の改善」